



沖縄県恩納村

議会だより

No.169

令和8年8月20日
発行

うんま

恩納村で**頑張る**

一般社団法人

恩納村マリンレジャー協会の皆様

OMA

恩納村マリンレジャー協会



安全講習会や海の
元気度を測るリーフチェック、
水中清掃、サンゴ保全なども
行ってるよ!

目次

- 議決結果 P2
- 一般質問 P3~P17
- 議会の動き・局長あいさつ・自治功労者表彰... P18

記事担当: 稲村 雅司



恩納村マリンレジャー協会の皆様

令和8年第3回恩納村議会臨時会 議決結果一覧

議案番号	件名	議決日	議決の結果
議案第44号	恩納村税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	4月27日	承認
議案第45号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	4月27日	承認
議案第46号	恩納村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	4月27日	承認
議案第47号	恩納村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	4月27日	承認
議案第48号	恩納村庁舎改修工事(第Ⅱ期電気工事)請負契約について	4月27日	原案可決
議案第49号	恩納村庁舎改修工事(第Ⅱ期機械工事)請負契約について	4月27日	原案可決
議案第50号	前兼久漁港浮桟橋設置工事請負契約について	4月27日	原案可決
報告第4号	恩納村庁舎改修工事(第Ⅰ期電気工事)専決処分の報告について	4月27日	報告
報告第5号	前兼久漁港用地護岸整備工事の専決処分の報告について	4月27日	報告

令和8年第4回恩納村議会定例会 議決結果一覧

議案番号	件名	議決日	議決の結果
議案第51号	恩納村博物館設置条例の一部を改正する条例について	6月3日	原案可決
議案第52号	令和8年度恩納村一般会計補正予算(第1号)について	6月10日	原案可決
議案第53号	令和8年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	6月10日	原案可決
議案第54号	令和8年度恩納村下水道事業会計補正予算(第1号)について	6月10日	原案可決
議案第55号	恩納村庁舎改修工事請負契約の一部変更について	6月3日	原案可決
議案第56号	恩納村赤間野球場屋根増築工事請負契約の一部変更について	6月3日	原案可決
報告第6号	令和7年度恩納村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	6月3日	報告
報告第7号	令和7年度恩納村水道事業会計繰越計算書の報告について	6月3日	報告
報告第8号	令和7年度恩納村下水道事業会計繰越計算書の報告について	6月3日	報告
	議員派遣の件	6月10日	決定

令和8年第4回定例会一般質問(6月4日)

新城 哲 議員

P4

- ① 学校等施設の管理・整備について
- ② 安富祖小学校運動場の夜間照明設備の再設置について
- ③ 地域福祉の推進について
- ④ 農業の振興について
- ⑤ 安全・安心の拡充について

當山 直彦 議員

P5

- ① 軽度要介護者サービスの地域移行問題について
- ② 高齢者の入居・入所施設不足について
- ③ 低所得高齢者の入居・入所負担と支援策について
- ④ 障がい者就労支援と「共生社会の実現」について
- ⑤ 教育支援センターの設置と不登校児童生徒支援について
- ⑥ 「地域共生社会」の実現に向けた横断的連携について

喜納 正誠 議員

P6

- ① 物価対策水道事業
- ② 漁村振興と海ぶどうの施設整備強化について
- ③ 近隣、うるま市石川区との信頼関係に基づく姉妹都市の締結案について
- ④ 宇加地区からの陳情について(アクセス道路の件)
- ⑤ 村長選挙の件

安里 周作 議員

P7

- ① 教育支援センター運営状況について
- ② 自動車運転免許証返納者について
- ③ 障害者等移動支援サービス事業について
- ④ 総合福祉センター入口の歩道改修の進捗について
- ⑤ 害虫防除について

比嘉 秀康 議員

P8

- ① 恩納村景観条例の運用について
- ② 誰もが移動しやすい恩納村をつくるための二次交通の充実について

令和8年第4回定例会一般質問(6月5日)

宮崎 匠 議員

P9

- ① 前兼久漁港の公園における時計の設置について
- ② 基金の運用について
- ③ 恩納村公民館等施設整備事業補助金の要綱改正について
- ④ 仲泊交差点～うんな中学校前の交差点までの夜間二輪車通行規制区間の指定について

又吉 貢 議員

P10

- ① オーバーツーリズムと村民生活

稲村 雅司 議員

P11

- ① 宿泊施設プール排水の適正管理と希望ヶ丘地区の側溝整備について
- ② 恩納村奨学金制度の今後の方向性について
- ③ 奨学金返還支援制度の創設による若者定住促進と人材確保について

大城 保 議員

P12

- ① キャッシュレス決済の取組について
- ② 農業・漁業に対する支援対策

山田 政幸 議員

P13

- ① 旧安富祖幼稚園 園舎・跡地利用について
- ② 観光客増加に伴う救急出動体制の現状と住民医療の確保について

令和8年第4回定例会一般質問(6月8日)

亀谷 梢 議員

P14

- ① スクールバス及び部活動の移動の安全管理について
- ② 第2次男女共同参画行動計画ナビプランについて
- ③ 団体室の必要性と婦人の家の利活用について

大城 節子 議員

P15

- ① スクールバスの待合場所のバス停について
- ② 文化財の整備について
- ③ 文化の振興について
- ④ カンジャガーの整備について
- ⑤ 仮称ナビロードについて

大城 堅三 議員

P16

- ① 恩納通信所跡地リゾートホテル建設について
- ② 軍用地所在区交付金について

佐渡山 明 議員

P17

- ① 万座毛植物群落の整備状況について伺う
- ② 万座毛の観覧料について伺う
- ③ 観光公害について(オーバーツーリズム)

令和8年第5回(9月)恩納村議会定例会

9月定例会は、
9月14日(月)を予定しています。

※文字数の都合上、掲載していない質問があります。恩納村議会ホームページ(議会ネット中継)をご覧ください。



新城 哲 議員

学校施設管理・整備について

質 安富祖小学校の施設管理について、複数の課題があります。把握しているのか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

各学校からの修繕依頼について学校教育課の施設係で情報を集約し、把握しているところです。児童生徒の安全に関わる防災設備や衛生機器などの修繕を最優先とし、学校経営に支障をきたす事案や老朽化等を考慮し判断しています。

安富祖小学校運動場の夜間照明設備の再設置について

質 名嘉真、喜瀬武原、安富祖の3行政区から提出された要望書及び署名について、村当局は、どのように受け止めているのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

校区の3区長連名の要望書と署名を提出する場に、村三役と共に私も関係課長の1人として参加しました。住民の健康増進や世代間交流の促進、さらには地域コミュニティの活性化にもつながる重要な公共施設であると受け止めています。安富祖校区の3区長連名の要望書で、地域の皆様の要望はしっかりと受け止めました。照明設備の整備に向けた方針が決まりましたら、区長にも情報提供し、連携して進めていきたいと考えています。

提 夜間照明設備は地域活性化に資する重要な環境整備であると考

えます。名嘉真、喜瀬武原、安富祖の3行政区からも要望書及び署名が提出されていることから、村当局は地域住民の声を真摯に受け止め、前向きに検討していただくことを期待します。



地域福祉の推進について

質 現在の地域福祉の課題をどのように認識しているのか伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

夫婦のみ世帯、単身・高齢者のみ世帯の増加、少子高齢化が急速に進行、買物の利便性、生活問題が深刻化しています。これらの課題に対応するため、支え手と受け手という関係を超え、地域住民一人一人が主体的に関わる包括的支援体制の構築が急務であると認識しています。

農業の振興について

質 肥料・燃油・農業資材価格高騰への支援及び農業経営安定策定について伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

肥料や農業ビニール等の資材価格が上昇しており、農業経営の影響は大きいものと認識しています。今後は、出荷団体と調整の上、農業資材等購入補助金の補助率引き上げを検討するとともに、国・県の動向も注視しながら、農業経営安定化に向けた支援に取り組んでいきます。

安全・安心の拡充について

質 恩納村が重点的に取り組んでいる安全・安心策とは何か伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

防災対策として避難所等への防災備蓄倉庫の設置、大規模災害を想定した全庁的な防災訓練を実施、災害時の職員対応はじめ関係機関との連携、地域の自主防災組織設立や活動促進に向けた講習会、防災士資格取得補助金を通して、地域の防災リーダー育成に取り組んでいます。

質 通学路や生活道路における交通安全対策について、現在の課題と今後の対策を伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

ガードレールやカーブミラーの老朽化、歩道の雑草及びレンタカーなどの車両の増加などに伴う安全の確保と認識しています。課題のある箇所については、関係課や関係機関への措置・対応をお願いしており、今後とも安全点検の実施と関係機関との連携が必要と考えています。

答 建設課長（當山 国博）

カーブミラーの設置、転落防止策の修繕、グレーチングや側溝の修繕などがあり、現場状況を考慮して予算の範囲内で順次対応している状況です。今後とも安全・安心の道路環境の維持に向け、取り組んでいきます。



當山 直彦 議員

軽度要介護者サービスの地域移行問題について

質 必要な介護サービスが低下しないための支援策や体制整備は。

答 福祉健康課長（當山 香織）

必要なサービスは事業所に委託して質の確保に努める必要があると考えています。地域住民等がサービスの担い手となる場合、研修会の開催など支援体制の整備も必要だと考えます。

高齢者の入居・入所施設不足について

質 認知症グループホーム小規模ケアハウス整備事業の進捗状況を伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

整備予定地に自然公園法等の規制がかかっており、その解除手続に時間を要します。今後、手続に係る支援など積極的に取り組んでいきます。

低所得高齢者の入居・入所負担と支援策について

質 施設利用料金の軽減や、住居費・食費負担の支援など、村独自の支援策はあるのか。

答 福祉健康課長（當山 香織）

村独自の支援策はありません。介護保険制度において所得に応じて食費と居住費の経済的負担軽減を行っています。また、配食サービスや外出支援サービス、住宅改修費助成など在宅での生活継続を支援するサービスも実施しています。

障がい者就労支援と「共生社会の実現」について

質 本村における障がい者就労の課題認識を伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

相談は本人の就労希望より家族からの相談が多い。就労が定着しないケースや本人の希望条件に合致する事業者が見つからないことも課題です。本人の意向に沿った支援と就労につながらない場合の継続したサポートが必要です。

質 地域企業や観光関連事業者などと連携し、本人が選択できる雇用環境や就労機会の拡大につなげる考えはあるか。

答 福祉健康課長（當山 香織）

恩納村障害者自立支援協議会に設置した就労部会を村内企業等の関係団体との情報共有の場として活用し、本人が選択できる多様な就労機会の創出と雇用環境の拡大につなげます。

答 商工観光課長（城野 正和）

観光、商工業、農業など様々な分野における就労機会を提供することで本人の適性や希望に応じた選択が可能になると考えます。本村における人材不足という課題と障害者の就労機会という社会課題の解決と結びつけることで、地域経済の活性化と共生社会の実現の両立を目指すことができます。

教育支援センターの設置と不登校児童生徒支援について

質 地域の多様な主体が参加しやすい仕組みづくりに関して教育長の見解を伺う。

答 教育長（宜志富 清博）

地域の多様な主体が参加しやすい仕組みづくりは大切であると考えます。不登校対策は、成人後のひきこもり予防という長期的視点から、地域全

体で子供たちを支援する重要な取り組みであると考えます。子供の頃からの支援を通して、社会とのつながりを構築させることで、生涯にわたって地域で活躍できる人材育成につなげていきたいと考えます。



教育支援センター（旧恩納保育所）

「地域共生社会」の実現に向けた横断的連携について

質 村長リーダーシップのもと進められている横断的連携のさらなる強化とその成果の「見える化」について、村長の見解を伺う。

答 村長（長浜 善巳）

恩納村版包括的支援体制の推進に向けて、社会福祉協議会をはじめとした関係機関との多機関協働による連携体制を構築し、その進捗状況や支援成果を発信することで、透明性の高い村政運営に努めます。



喜納 正誠 議員

物価対策水道事業

質 水道料金の基本料金免除、恩納村の大型ホテル法人格を有してない会社も村の税金で免除をしなければいけないのか、仕分けして村民への基本料金の免除が延命化できるか伺う。

答 上下水道課長（金城 正道）

一般世帯及び事業所に対し、既に周知しており検討はできませんが、次年度も臨時交付金が活用できれば、一般家庭世帯のみを対象に免除検討したい。

漁村振興と海ぶどうの施設整備強化について

質 海人の生産者の所得向上するため、今部会と大学院の専門家と調査研究をして、早い時期に結論を見て、工事に入るという答弁を受けた。生産者に不安を与えず、どうい

うスケジュールで行くのかを伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

恩納漁港と前兼久漁港は老朽化が進行しており、漁協がその都度、破損箇所 の応急処置を行っています。建屋の鉄骨部分のさびの浸食や屋根の破損による雨漏りが発生するなど、経年劣化が顕著となっており、生産量や品質への影響に加え、漁業者の安全面の確保も懸念されています。本年度、修繕に向けた調査を検討するとともに、財源を含めて対応策を検討したい。

近隣、うるま市石川地区との信頼関係に基づく姉妹都市の締結案について

質 恩納村リゾートホテルに滞在する観光客によりローカルで多様なうるま市の文化・食・芸能など楽しみを提供するため、石川地区の豊富な飲食店と提携し、定期運行の観光バスの展開や事業化を見据えて相互利益の追求、協働、意思の確認、意見交換を実施するために恩納村も参加しています。村長の意見等を伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

石川の観光闘牛、勝連の肝高の阿麻和利の公演といったうるま市の文化を巡って、その後、石川社交街の方々を含めて、

文化体験や夜の飲食店が豊富なるま市石川地区が連携し、夜間消費の拡大と滞在価値の向上を目指すことについての意見交換でした。連泊客の満足度向上や、移動手段の提供による恩納村のメリット、経済活性化と新規顧客の確保といったうるま市石川地区のメリットなどが挙げられました。恩納村に来てよかったと感じてもらえるような施策になれば連携するメリットとして十分あり得ると感じたところです。

答 村長（長浜 善巳）

連携を図っていく。特に恩納村の課題でもあるナイトコンテンツについては、観光客の満足度向上につながると考えています。

質 市町村の生き残りをかけた戦略、周りとのお付き合いを広げていく長い目で見えた持続可能発展に向けた取り組みを考えるべきだと思いが見解を伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

観光客の満足度向上につながる形で今後の連携の在り方について協議していきたいと考えています。

答 村長（長浜 善巳）

今後一緒に連携できるところはうるま市と協議しながら進めていきたい。

宇加地区からの陳情について（アクセス道路の件）

質 アkses道路の件、宇加地区の区長をはじめ区民は行政の動き、目的が達成できるようにと祈る一心で固唾をのみながら期待をしているが、読谷村と協議を行ったかを伺う。

答 企画課長（宇江城 悟）

宇加地区長、塩屋区長、真栄田区長、山田区長から意見をいただき、防衛対象区域が絡んでいることから、慎重に検討してほしいという意見がありました。村を跨ぐ路線という観点から、読谷村との合意形成と地元宇加地区はもとより近隣地域との意見交換が重要と考えております。引き続き取り組みを継続して行きたい。

村長選挙の件

質 半年後には現村長4期目の選挙となるかと思うが、村長、率直にこの半年後の村長選挙に臨むのか臨まないのかを伺う。

答 村長（長浜 善巳）

恩納村が、豊かな自然や文化、観光資源に加え国際性と持続可能性を兼ね備えた村として、さらに発展していける大きな可能性を感じております。その実現のためには行政だけではなく村民の皆様、恩納村の未来にとって何が最善であるかをしっかりと見極め、責任ある判断をしていきたい。



安里 周作 議員

教育支援センター運営状況について

質 教育支援センターの所長及び支援員の年齢構成と教育機関での経験はあるか。

答 学校教育課長（親泊 誠）

所長は、本村の福祉課長などを経験した再任用職員を配置しています。支援員は、教育相談員の経験者、教員の経験者、スクールソーシャルワーカー、保育園勤務経験者など4名の会計年度任用職員を配置しています。年齢構成は30代から60代です。

質 教育支援センターに、通級あるいは面談している児童生徒はいるのか。

答 学校教育課長（親泊 誠）

生徒1名、児童2名が見学して、うち1名は体験通級を行っています。

質 学校、関係機関等との連携はどのように行われているか。

答 学校教育課長（親泊 誠）

不登校児の状況や、センターの受入れ体制など、情報共有を学校と図りました。関係機関との連携は、重要と考えています。必要に応じ関係機関と連携を図っています。

自動車運転免許証返納者について

質 村内の運転免許自主返納者数の把握が必要と考えるが、当局の考えを伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

件数把握によって、支援を必要としている方の実態把握に資すると理解しています。

質 運転免許自主返納後の移動手段に対して、シェアカーの貸出し、購入補助等の援助の考え方を伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

外出支援事業等の支援を実施しており、運転免許返納者の移動手段の確保に努めています。多面的な支援策の充実を図ります。

障害者等移動支援サービスについて

質 障害者等移動支援サービス事業の利用者の想定人数は。

答 福祉健康課長（當山 香織）

10名としています。生活の行動範囲が広がることで、充実した生活を送ることができるよう支援します。

質 身体障害者協会との連携も重要と思うが、当局の考えを伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

身体障害者協会との連携は極めて重要と認識しています。定例会で、事業の説明を実施しました。定期的に連携を図り、利用者のニーズを把握し事業の充実に努めます。

総合福祉センター入り口の歩道改修の進捗について

質 利用者の方が18年前から歩道整備をお願いしています。またこども園の児童の散歩途中で引き返した状況がありました。それに対して当局はどのように考えるか。

答 建設課長（當山 国博）

長年にわたる要望があつたにも関わらず、歩道利用者の皆様に多大な御不便をおかけしている現状については深く反省し、一刻も早く改善しなければならぬと感じています。早期の工事着手に向け取り組みます。

害虫防除について

質 化学的防除と物理的防除の違いについて伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

化学的防除は、農薬を使用して病害虫を防除する方法です。物理的防除は、防虫ネット及びビニール、粘着トラップ、袋掛け等、物理的な手法により害虫の活動や侵入を抑制する方法です。

質 アテモヤとマンゴーに対する登録農薬の種類数を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

アテモヤは、殺虫剤、ダニ剤の2種類です。マンゴーは、殺虫剤、殺菌剤、ダニ剤を含め151種類があります。

提 アテモヤの2種類しかない登録農薬を増やすようアプローチをしてほしい。

質 特定農薬の定義と扱いについて当局の考えを伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

農薬取締法に基づき人や環境等への影響が極めて少ない農薬です。特定農薬の天敵資材は、購入補助金の対象です。特定農薬は、有機農業を含め現場で円滑に活用できるよう配慮されています。



比嘉 秀康 議員

恩納村景観条例の運用について

質 恩納村景観条例では、良好な景観は村民共有の財産であり、村民、事業者、行政が協働して守り育てるものとして定められています。また建物の色彩については、自然景観や集落景観と調和する落ち着いた色彩とすることが、基本的な考え方として示されています。しかし村内では、一部の民家、店舗や事業所など、周辺景観とやや調和しにくい色彩の建物が見受けられる。村としては状況を把握しているか。また、なぜそのような状況が生じるのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

村としても認識しています。原因の特定には至っていませんが、届出対象規模に該当しない工事や、平成26年施行の「恩納村景観むらづくり条例」施行以前

の既存建築物といった要因に加え、景観条例や色彩基準そのものが村民や事業者の方々に十分な周知に至っていないことも、こうした状況を生じさせる一因ではないかと考えています。

質 こうした状況に対して村として実際にどのような助言や指導を行ってきたのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

景観条例に基づく指導をこれまで十数件実施している。対象の建物所有者に対して文書による改善通知を行っており、条例の趣旨に沿った対応を求めています。引き続き、色彩、形態、規模など景観形成基準に基づいた適切な指導助言を通じて、良好な景観の保全に努めていきます。

質 色彩基準について、住民や事業所に分かりやすく伝えるための工夫や周知の改善について、どのような考えか。

答 企画課長（宇江城 悟）

周知が十分に行き届いていないことは、課題と受け止めている。周知の在り方を改善することは重要な取り組みである。今後は、ホームページや広報紙のさらなる情報充実に加え、色彩基準となる色見本を用いた誰が見ても分かりやすい資料の整備などを行い、周知の改善に取り組んでいきたい。

質 塗り替えや改修の事前段階で、建物所有者へ色彩確認や相談窓口の案内を行う仕組み等について、村として検討できないか。

答 企画課長（宇江城 悟）

建物所有者の利便性向上と景観形成の両立を図る観点から、事前段階での仕組みづくりについて現在検討している。村の実情に合った対応の在り方について慎重に検討していく。

誰もが移動しやすい恩納村をつくるための二次交通の充実について

質 村民の皆様の日常の移動に関して、村としてどのような課題や村民の声を把握しているのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

令和7年に「恩納村の交通状況に関する調査」として、アンケートを実施した。村民の生活に必要な通勤、通学、買物、通院などの多くは恩納村内では完結していないことから、隣接市町村や広域的な移動は生活にとって必要不可欠なため、自動車へ依存せざるを得ない状況が課題となっている。また、村民から公共交通として求める取り組みは、「福祉バスやタクシートの導入」や「隣接市町村と連携した循環バスの導入」が高く求められている。

質 観光と住民生活の両立を考える上で、観光客向けの二次交通の充実には、避けて通れないテーマだと考える。観光客向けの周遊バスやシャトル交通など、観光客の移動手段の多様化に向けて、どのような方向性を考えているのか。

答 商工観光課長（城野 正和）

観光客向けの二次交通については、以前から観光関係者より必要性が指摘されている。村内ホテルからは観光施設への移動手段の確保に加え、レンタカーを利用しない、または利用できない外国人観光客、もしくは免許を持たない若年層など、従来とは異なるニーズへの対応が課題となっている。このような状況を踏まえ、宿泊税の活用事業の一環として、村内循環交通などの基盤整備の必要性が提案されています。

質 高齢者や子育て世帯の移動を支えるために、オンデマンド交通や乗合タクシーなど、より柔軟な移動手段の導入について、どのように検討しているのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

今後は各関係機関や有識者で構成する地域公共交通推進協議会を立ち上げ、本村の実情に合った柔軟な移動手段の導入について、協議会の意見を恩納村地域公共交通計画に反映しながら策定に向けた取り組みを進めていきたい。



宮崎 匠 議員

前兼久漁港の公園における時計の設置について

質

公園内には現在、時間を確認できる時計が設置されておらず、利用者からは「時間が分かりづらい」、「子供たちの帰宅時間の目安がつきにくい」などの声もあります。様々な観点からも公園は避難場所や地域の集会所として活用される可能性があり、時計の設置は利便性の向上につながるものと考えます。今後、設置に向けた検討の可能性について、執行部の見解を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

時計の設置は、児童の安全な帰宅の推進など各方面での利便性の向上につながるほか、公園の管理規則で定められた公園利用時間の遵守を促す効果も期待できると考えています。また、前兼久漁港公園隣接の大型駐車場においては、今年度に有料化のほうを予定して

基金の運用について

おり、利用者が駐車時間を確認する上でも時計の設置は必要性が高いと考えています。利用者の利便性向上の観点から、今後設置に向けて検討したいと考えています。

質

現在、多くの自治体において、安全性を最優先に国債や地方債など比較的リスクの低い債券運用を活用し、基金の安定的かつ効率的な運用について検討が進められています。限られた財源を将来世代へ適切に引き継いでいくためにも、基金の運用の在り方について、時代に即した検討が必要であると考えます。安全性を確保した上で、国債や地方債等を活用した基金の運用の検討について執行部の見解を伺う。

答 会計管理者（野原 みちよ）

公金運用については安全・確実が鉄則であることから、財政リスクを十分に認識し管理を行い、満期保有の徹底ができるよう、債券購入額や満期年数等について財政係と綿密に連携を図り、専門的知見を活用し、検討を進めていきたいと考えています。

提

基金運用に関しては、2つの軸で運用していく方向性が重要であると考えます。流動性がある定期預金及び普通預金での運用と、中長期

的な視点で運用するという前提での債券運用、2つの軸で取り組んでいけたら将来的な村財政運営に大きな効果をもたらすと思いますので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。

恩納村公民館等施設整備事業補助金の要綱改正について

質

恩納村公民館等施設整備事業補助金について、現状に即した制度内容への見直し及び要綱改正が必要であると考えます。現状からも見て取れますとおり、各行政区が使いづらい現状があると思います。地域住民が安心して利用できる施設環境整備の観点から、防災・防犯設備、あるいは省エネ設備等の新規導入支援を拡充すべきであると考えますが、執行部の見解を伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

地域住民が安心して利用できる住民の身近な施設の環境整備は重要なことだと認識しています。防災・防犯設備の導入支援の拡充については、担当課と連携していきたいと考えています。

仲泊交差点からうんな中学校前の交差点までの夜間二輪車通行規制区間の指定について

質

同区間において、夜間における二輪車の走行音や暴走行為、集団走行等に対する住民からの苦情や不安の声が寄せられています。県内において、夜間の二輪車通行規制区間が指定されている地域もあることから、本村としても地域実情に応じた対策の検討が必要であると考えます。夜間二輪車通行規制区間として指定することについて、村の見解を伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

今現在、石川署のほうは本部のほうに上程しているというところで、先日、進捗状況を確認したのですが、今現在、県警本部の交通部交通規制課において通行規制に向けた各種調査を進めているところであるという回答を受けています。

提

夜は静かな状況で眠りにつき、落ち着いた中で安心・安全な暮らしをしていきたいというのが村民の気持ちであると思います。しかし、暴走行為がなかなか止まらない状況もあります。村民の目に見える形で、いつまでにこの区間指定を目指して取り組んでいきますとか、そういった姿勢を示していくのも必要だと思しますので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。



又吉 貢 議員

オーバーツーリズムと村民生活

質 年間の観光客数、宿泊施設の数、建設中あるいは設計段階のものも含めて何件ぐらいあるか。

答 商工観光課長（城野 正和）

村内宿泊者数は22万4千2、250人となっています。宿泊施設民泊は現在把握できている件数は旅館業法は359件、住宅宿泊業法54件となっていますが、さらなる確認が必要と考えます。

質 ホテルの数もお聞きしたい、現在ホテルが何軒あり、あと何軒増えて、恩納村全体で何室になるのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

今現在で約6、000室、今後が約3、000室となっています。

質

今ハワイを見るとオーバーツーリズムの被害が多く、これまでの観光指数は観光客の人数で測っていたものを今の段階では、住民の満足度や観光客一人当たりの消費単価など、住民に寄り添った観光地を目指しています。恩納村もその辺を視察して、研修をやる必要がある。

答 商工観光課長（城野 正和）

先進地の視察は重要だと感じておりいろんな施策と組み合わせながら考えていきたい。

質

現在本土のほうでは、民泊をたてさせないような条例を作っている、実際には上位法があるので効果があるかどうか定かではない。しかしながら村として意思を表明することもまた一つの手だと思いが、考えは。

答 商工観光課長（城野 正和）

村としても、対外的に公表するものも含めて、どの範囲で規制ができるか調査・検討を今年で実施し進めています。

質 観光からの収入は。

答 商工観光課長（城野 正和）

自治体に直接的な収入という点では、令和7年度法人村民税6千66万2

千円、ホテル従業員の特別徴収分の個人村民税が6千百78万8千円固定資産税は7億6千7百13万円となっています。今後新たに導入が決定した宿泊税が年間5・5億円を見込んでいます。

質 その利益を村民に見える形で還元できないか。

答 商工観光課長（城野 正和）

オーバーツーリズムに伴う土地価格の高騰家賃の高騰村民生活が圧迫される課題も生じています。宿泊税は観光客の増加に伴う課題を解決し、観光と村民生活の調和を図るための目的税として位置付けられています。今後宿泊税使途検討委員会の中において、観光と村民生活が高度に調和した村を実現するため推進していきます。

質 村民生活と観光地の住み分けをどのようにやっていくか。

答 企画課長（宇江城 悟）

恩納村環境保全条例に基づき、リゾート用域、集落用域、環境保全用域など、村民生活の基盤となるところを明確にして、観光と生活の共存・共生を目指す。



オーバーツーリズム対策が課題の真栄田岬周辺



稲村 雅司 議員

宿泊施設プール排水の適正 管理と希望ヶ丘地区の側溝 整備について

質 プール排水の基準や要綱があるか。

答 建設課長（當山 国博）

条例や要綱はないが新築工事届を提出の際にプール等の設置を把握した場合は、排水対策を依頼している。側溝や集水ますへの急激な負荷を避けるため、浸透ますの設置、流量を調整した放流、塩素濃度など適正な排水処理を依頼している。

質 側溝に接続せずに排水が村道や私有地へ流出する場合、指導が可能か。

答 建設課長（當山 国博）

排水が道路利用者の安全な通行や構造を損ねると判断した場合、原因者へ適正な側溝への接続など指導・改善を行うことが可能。私有地への流出は、原則、民事上の問題となるが、悪臭など公衆衛生上の支障が生じている場合は、関係法令等に基づき改善に向けた指導や助言を行うことが可能だと認識している。住民から具体的な相談や情報提供があれば現地の状況を確認するなど、適切に対応していきたいと考えている。

質 村道の標準的な側溝仕様と、希望ヶ丘地区との違いは。

答 建設課長（當山 国博）

50年前に民間事業者が開発した地域であり、当時の経緯から通常の村道とは異なり、道路の両側にU字側溝がない路面排水方式がとられている。雨水や汚水の処理は地中の埋設管に頼らざるを得ない状況でこれらの既存埋設管は管理が不十分な状態で村へ移管されたため、インフラ機能の低下や維持管理における大きな課題となっている。

質 改善する考えがあるか。

答 建設課長（當山 国博）

令和9年度に実施予定の道路ストック総点検調査において、現状調査を行っていく。調査結果を踏まえ、経済的・効果的な排水処理を検討していく。

質 条例や要綱で制度化することは。

答 建設課長（當山 国博）

現時点では、制度化ではなく現行の個別対応を継続していき適切な排水が確保されるよう丁寧な対応に努めていく。

恩納村奨学金制度について

質 経済基準を明確化し、住民が判断しやすい制度にしていく必要を感じることが見解は。

答 学校教育課長（親泊 誠）

ほかの自治体を参考に、村民の皆さんが応募を検討する上で判断しやすいよう見直しを検討したいと思う。

質 選考基準についての考えは。

答 学校教育課長（親泊 誠）

通信制・夜間課程等に通う生徒が増えているなどの地域の実情、他の自治体の動向などを踏まえ、成績基準・人物評価・健康要件も今後しっかりと検討していきたいと思う。

質 奨学金の受付時期について。

答 学校教育課長（親泊 誠）

家計急変などの事例にも対応が求められていると考えている。春季と秋季の年2回の受付について検討していきたいと思う。

質 給付額・貸与額の増額は。

答 学校教育課長（親泊 誠）

学生や保護者の経済的負担の軽減という観点から重要な要件だと認識している。適切な支援の在り方について慎重に検討していく。

答 教育長（宜志富 清博）

利用のしやすさ、公平性、財源とのバランス等を踏まえ、他自治体の事例も参考にし、制度の見直しについて慎重に検討していきたいと思う。

奨学金返還支援制度について

質 奨学金返還支援制度の導入は。

答 学校教育課長（親泊 誠）

奨学金返還に加え、住宅費や生活費などの負担も大きいことから、就職先や居住地を選択する際の重要な要素になり得るものと考えている。また若者が地元へ戻るきっかけづくりや地域への定着促進につながる可能性があると考えている。

質 県内や全国の事例を基に進めてほしいが見解は。

答 学校教育課長（親泊 誠）

実施体制や方法について、関係課並びに関係機関と調査・研究を行い、できるだけ早く体制づくりができるよう検討していきたいと思う。



大城 保 議員

キャッシュレス決済の取り組みについて

質 多くの観光客が訪れる恩納村、村内事業者のキャッシュレス決済の状況を伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

外国人を含む観光客が訪れる多くの観光事業者では、キャッシュレス決済が進んでいる。小規模事業者、小さなお店は、手続や手数料負担があるために導入を控えていると考えています。

質 世界的には現金よりカードやスマホによる決済が主流である。観光客をもてなす意味からも、キャッシュレス化、行政としても関わるべきだと思う事業者への説明会、勉強会等の開催は。

答 商工観光課長（城野 正和）

村商工会が令和元年9月に開催し、ほか沖縄銀行恩納支店が実施したと聞いています。

質 1回の勉強会ではなかなか理解できない、少ないと感じる。恩納村の中小・小規模・小企業者振興行動計画の令和4年度の報告書に、スマートフォン決済等キャッシュレス化が一般化していることから事業計画を変更するとある。村としては事業として終了したと認識しているのか。

答 商工観光課長（城野 正和）

一定程度普及が進み、次の段階に進むことが必然かつ必要であり計画上的の変更を行った。事業を単純に終了したものではなく引き続き相談対応、導入促進、各種補助金制度の活用など支援を行っている。

質 小規模事業者のデメリット、初期費用とランニングコスト、挙げていて導入に至っていない小規模事業者に対して、今後村の導入支援をどのように考えているか伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

事業者が補助金導入判断できるよう、商工会と連携し情報提供と相談支援を一層充実させていきたいと考えています。

質 インバウンド客を誘客する観光地としての、キャッシュレスの環境整備は重要だと思えます。小規模事業者を救うのも行政の仕事と思う、今後村長としての助成の考えはあるのか伺う。

答 村長（長浜 善巳）

国内、特に国外キャッシュレスが進んでいる。商工会と連携し、事業者が導入判断できるよう情報提供と、相談支援を一層充実させていきたい。

農業・漁業に対する支策

質 中東情勢による原油価格高騰による農水産業への影響について、どのように認識しているのか伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

当面の間は資材の在庫が確保されているが来期分については業者のほうから約20%から40%の値上げの申出があり、漁船燃料をはじめ各種資材にも影響を及ぼすことから、漁業経営の影響が懸念されています。肥料や農業用ピニール等の農業資材は原油価格や輸送コストの影響を受けやすく、資材価格の上昇は農業経営に大きな負担になると認識しています。

質 モズクはほとんどが県外業者との取引ということで、今後この輸送費がかなり高騰するだろうと伺っています。漁業者に対しての今後の支援策について伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

今後の燃料価格の動向に加えて、包装資材や養殖資材等の価格上昇についても注視していく必要があると考えています。

質 化学肥料と農薬、農業資材も高止まって、このままの状況が続くと離農者も出てくる。農業者に対する今後の支援策を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

今後、出荷団体と調整の上、農業資材等購入補助金の補助率引上げを検討していきたい。

質 現状を踏まえて村長として何か支援の考えがあれば伺う。

答 村長（長浜 善巳）

今後も燃料や資材価格の推移を注視し農業・漁業に係る各種資材等購入補助金の補助率の引上げを検討するとともに、経営負担の軽減に向け、必要な支援に取り組んでいきたい。

提 資材高騰はかなり影響が出ています。農薬・化学肥料の補助率アップ、水産業のモズクの輸送コストの動向を見ながら、今後ぜひ支援を講じていただきたい。





旧安富祖幼稚園園舎・跡地 利用について

質 跡地利用に向けた現在の検討状況を伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

地域の皆さんが集える場所として活用したいと学校運営協議会において意見があり、その意向を踏まえ地域連携室として活用することを学校とも確認しています。

質 幼稚園奥の保育所跡地計画の考えを伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

関係課と情報共有をし、有効的な活用があれば連携していきたいと思います。

観光客増加に伴う救急出動 体制の現状と住民医療の確 保について

質 直近3年間の救急出動の件数、村民・観光客の内訳を伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

直近3年間の件数については把握していませんが令和6年度、救急搬送要請件数が1,590件。そのうち村内在住者が647件、全体の50%。旅行者480件、全体の37%。県内の在住者163件、13%です。人口1万人当たりの平均救急出動件数1,249件と、全国平均と比較すると2.1倍。県内の市町村で最も救急出動件数が多い自治体です。

質 観光客向け医療Maas「ぬちまーす号」について伺う。

答 企画課長（宇江城 悟）

観光客の夜間、急な体調不良に対応しており、看護師が専用車両で宿泊施設に赴き、医師のオンライン診療、バイタルチェック、処方箋配送まで一貫対応する仕組みとなっています。令和7年度4月より恩納村を中心に、本格運用されており、本村では、年間100件近い利用実績があります。

質 観光客やホテルに対する救急車適正利用の啓発活動の状況と、今後の認知度向上に向けた取り組みを伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

#7119の周知と併せて医療Maas実証事業の開始にあたり関係機関と連携し、観光客やホテル等観光施設と継続的な啓発活動を実施します。これらの取り組みにより、本当に救急対応を必要とする方への適切な対応を確保する観点から、救急車の適正利用の一層の認知度向上に努めます。

質 マリンレジャーにおける安全確保と水難事故対策について伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

水難事故防止の看板設置、荒天時での入水制限注意喚起。沖縄ライフセービング協会の巡回や講習会、石川地区恩納水難事故防止推進協議会において水難事故防止のための啓蒙活動や危険個所の調査等を実施しています。

質 オーバーツーリズムが懸念されるエリアにおいて、入場制限や観光管理の考えを伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

利用者の集中に伴う水難事故の増加、環境保全や持続可能な観光資源の保護のため適正な利用者数の制限が必要

要だと認識しています。そのため本村では令和6年度より、エコツーリズム推進法を視野に取り組みを開始しました。この法律を活用することで特定地域への利用制限（入域制限）の法的根拠の確保、自然観光資源の指定と保護措置の実施、利用ルールの策定と法的拘束力の付与が可能となります。現在、村、地域住民、関係事業者が参画するエコツーリズム推進協議会を立ち上げ、協議を進めています。関係機関との合意形成が重要なので、しっかりと丁寧な説明を行いながら、認定に向けて進めていきたいと考えています。





亀谷 梢 議員

スクールバス及び部活動の移動の安全管理について

質 部活の遠征時の事故の報道を受けて、教育委員会としては何らかの安全周知の徹底に向けた話し合いが持たれたか。各学校への周知を行ったか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

特に通知文書などは発送していませんが、学校のほうに確認しています。学校側としては、この県外でのバス事故を受けて、学校職員には交通安全について徹底した注意喚起をしていると伺っています。

質 スクールバス運行委託状況について、委託業者の安全体制の状況を把握しているか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

受託事業者が一般旅客自動車輸送事業者となっており、「道路輸送法」に基づいて、「安全管理規定」を作成し、出

退勤時のアルコールチェックや健康診断結果の把握など、安全管理体制を構築していると認識しています。アルコールチェックなどの未受診者は運行させないなどの対応を取っていると認識しています。

質 乗車バスがあると聞いています。どのような形で使用しているかを伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

乗車バス、子供たちのほうに作成していることは認識しています。この子供、児童生徒がどこから乗る生徒であるというふうに認識するためのバスというふうには、乗車の際に確認はしていると理解しています。

質 恩納村としてのスクールバスの危機管理マニュアルは作成されているか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

受託事業者のほうで危機管理マニュアルは現在ないというふうには伺っています。それに代わるものとして、「安全運転管理規定」、「重大事故、事件発生時の緊急連絡体制」の構築、毎月1回の「安全運転に関するミーティングの実施」など、「道路輸送法」に基づき必要な措置を講じていると伺っています。

質 喜瀬武原く安富祖小学校の現在の送迎の状況、帰りはどうされているか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

安富祖小学校へ通う喜瀬武原地区の

児童生徒の送迎状況は、現在、うんな中学校のスクールバスを活用しています。現在は6名がバスを利用している状況です。帰りは、個別に別の車両で、喜瀬武原まで送迎していると伺っています。

質 こども園の送迎についての状況ですが、体制はどうなっているか伺う。

答 こどもみらい課長（仲村 成子）

現在24名の園児が利用しており園児は一人一人座席を決定し、毎回同じ座席に乗車することで、園児の把握と安全確保を徹底しています。こども家庭庁が示す安全基準に基づき、国の基準に準拠した運行情況を行っています。

第2次男女共同参画行動計画画ナビープランについて

質 第2次男女共同参画行動計画ナビープランの作成の経緯と内容を伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

第2次プランの策定に当たり、女性活躍推進法施行やSDGs未来都市など、社会情勢の変化も後押しとなり、策定審議会において約1年半議論がされています。村民、事業者、行政が連携して、着実に推進していくことが求められているという答申を受け、策定された経緯があります。中身としては、第2次計画においては、「お互いを認め合い、ひとりひとりが輝ける村」を基本理念に、基本目標を3つ定め、各種の施策を展開しています。

質 恩納村男女共同参画推進条例の第17条に、村長は毎年男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について公表しなければならないとあります。毎年どのような形で公表されているのか伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

県、国からの調査等については公表しています。計画図に載っている構図のような報告は、毎年度はされてないです。この辺をどのようにしていくか、しっかりと改善していきたいと考えています。

団体室の必要性と婦人の家の利活用について

質 各団体の書類の保管場所や会議等の団体室がないということです。各団体室をつくる必要性はないか伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

団体室は、役場の閉庁時間以外でも使えるような形で利用できる会議室は、一定の役割を担っているものと認識し、必要であると理解をしています。

質 婦人の家の活用について、団体の会議室として利用可能か伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

農林水産課でも、村赤土協議会での活動を予定しており、その書類保管場所に関しては、スペースの確保は厳しいと考えています。会議等に関しては、特に問題はないと考えています。



大城 節子 議員

スクールバスの待合場所のバス停について

質 仲泊小学校には上屋のバス停が設置されています。以前に議員からも、設置についての要望に対して仲泊小学校前は村の管理地となっているので、村道を管理する建設課と協議を進め、設置できるか検討していきますと答弁されたのですが、その後どうなったのか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

仲泊小学校前のバス停における対応につきましては、これまでの議会での指摘を踏まえて、関係機関と協議を進めてきましたが、教育委員会として限られた予算の中で、より緊急性の高い施設整備を優先する必要があるというふうに判断してバス停上屋設置については現段階では見送ることとします。

文化財の整備について

質 仲泊一里塚の木々の剪定について2階より高いところは台風シーズンにならないうちに剪定してほしいとの要望に対し、村有地であればすぐに作業を進め、民有地、宇有地であれば地権者の承諾が必要なので、並行しながら進めていきたいと答弁されたのですが、その後どうなったのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

仲泊の一里塚の指定地は民有地及び宇有地が含まれており剪定を実施するには、地権者等との承諾手続や実施の調整が必要となり関係者との調整を進めています。

文化の振興について

質 恩納区所有の土地とナビー屋敷跡を公園化することはできないか。公園化することで、マッコウ家の石碑も目の目を見ることができるとではないかとの提案に、将来的な整備に向けて恩納区との意向を確認した上での整備が必要で、恩納区へ協力を求めていると答弁されたのですが、恩納区との話し合いはされたのか伺う。

答 企画課長（宇江城 悟）

恩納区長よりお話を伺いました。内容は過去に、マッコウ家の石碑所在地の有効活用を検討し当該土地が民有地であるということから、有効活用については、総会に諮って一度白紙に戻したという経緯を伺っています。村としても、マッコウ家を含め、周辺には幾つもの文化財や文化資源が点在し、本村の歴史・文化の面から大変貴重な場所と認識しており、引き続き地元恩納区の意向を尊重しながら、文化振興に向けた活用について関係課と連携して、検討していきたいと考えています。

カンジャガーの整備について

質 ナビーの屋敷跡に隣接するカンジャガー。村の指定有形文化財になっている。ナビーもこのカンジャガーの水で産湯をつかったと思います。そして命の源である水を毎日くみに行ったと思います。カンジャガーは以前、恩納村の給食センターにも使われていたと聞いています。このすばらしい文化財をきれいに整備してほしいと思うが当局の見解を伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

村指定文化財カンジャガーは、地域の歴史を伝える貴重な歴史的資源であ

ると認識しています。文化財は昔から造られたものを後世に伝えるためにも、歴史的景観や現状の姿を尊重し、可能な限り当時の形状や雰囲気を残しながら保存していくことも重要であると考えています。今後の整備や保存の在り方は地域の意向も確認し文化財としての価値や保存を踏まえ対応していきたいと考えています。

仮称ナビーロードについて

質 ナビーの屋敷跡から、恩納松下の碑、恩納番所を通って、万座毛までの道をナビーロードと称して整備することはできないか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

ナビー屋敷跡から万座毛へ至る道のりは、本村の誇る歴史的・文化的な価値を感じられる魅力的なルートであると認識しています。社会教育課としては、このルートを生かし、これまでも実施してきた地域学習などの取り組みをベースに、子供たちの郷土愛を育むため、教育・地域学習の場として活用・発信に努めていきたいと考えています。



恩納ナビー生誕跡地（マッコウ家）



大城 堅三 議員

恩納村通信所跡地リゾートホテル建設について

質 通信所跡地リゾートホテル計画、地元行政区、地主会、村当局の協議等を経ての事業計画の経緯を伺う。

答 企画課長（宇江城 悟）

平成21年に地主会説明会が開催され、地主会、区長、事業者、企画課が参加し、事業概要、基本合意書、土地の個別契約について、説明が行われ、地主会とベルジャヤランド社が開発基本合意書の締結を行い、条例に基づく申請の都度、村と協議が行われ開発業者から地元行政区に対し事業説明が行われています。

質 環境評価書に対する県からの意見書どのような対応があったのか。

答 企画課長（宇江城 悟）

環境影響評価書は、手続が3段階に分かれており、知事意見を受けて、対策等が講じられ、事業計画の見直しを行い、平成26年県より環境影響評価の許可を受けています。知事意見書については、その都度補正を行い、適切に対応し環境アセスの許可を受けています。

質 知事意見書の中で南恩納区が懸念していたナカンス水路の指摘、意見書、どのような対応があったか。

答 企画課長（宇江城 悟）

勢高排水路は村と事業所と地域で協議を行って、排水の断面が小さいと意見書であり、令和元年に一括交付金を活用し、断面の拡幅工事を行っています。

質 環境保全措置要求について、県から代表に、書面で出され、評価書時点で計画のなかった高さ40mのコンドミニアム2棟の建設計画が大幅に変更となった、眺望景観への影響は、視認される人工物の占める割合が大きく必要に応じて環境保全措置を講じることとの県意見書の対応は。

答 企画課長（宇江城 悟）

周辺の自然環境や海洋環境への影響が懸念され、県の許可後も県環境影響評価条例に基づき、事後調査の手続が継続して実施され適切に措置されていると考えますが、直近の県知事から

発出された事後調査報告書で平成26年から建物や面積が大幅に変更になっている、環境影響調査を実施し措置要求が求められ事業者はどうするか検討をしていると伺っています。

軍用地所在区交付金について

質 軍用地賃貸料が払われたのが昭和29年、昭和33年の資料で、当時の支払い配分は。

答 総務課長（喜久山 隆）

昭和33年の議会の協議事項に書かれているところで分収金は嘉手納弾薬庫地区は、村55%、区45%、キャンプハンセン地区は村60%、40%と記されています。

質 当時は50対50もあったと聞いたんですが、事例は。

答 総務課長（喜久山 隆）

村と区、50対50という資料、協議事項、そういったことは確認されていません。

質 村は、覚書を根拠にして施行している。金武町は条例化され、宜野座村は議会と村執行部が2年に一度協議し、時限法で割合が変わる。今後、現状で行くには、議会と協議すべきだと思うが。

答 総務課長（喜久山 隆）

平成8年度覚書が更新され、割合はそのまま長い月日がたっていますが、村としても配分を変えようと村の財源3億円が消えてしまいますので、慎重な議論は必要と考えます。

質 50対50に戻す協議ということではない、議会と執行部の協議会がふさわしい、あるべき姿ではないか。

答 総務課長（喜久山 隆）

協議会の設置というところですが、分収金の割合は、区、地主会からも正式に話し合いも持っていないので、区の見も聴取し、どういう方向に進めるか検討していきたい。

質 村長の考えを伺う。

答 村長（長浜 善巳）

村は、軍用地地主会、区長会と様々な意見交換、また防衛局へ要請行動も行ってきました。賃貸料、その財源は均衡ある発展に寄与し、特に福祉の向上、子育て支援、人材育成に多大な貢献、また効果的な事業を展開できたと考えます。議員からお話があることは区長会、地主会などと意見交換も重ねて検討していければと考えています。



万座毛植物群落の整備状況について伺う

質 令和4年には、「万座毛」の保存は昭和47年の原風景に戻したいと強く感じている」と、答弁がありました。が、維持管理の進捗を伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

令和6年度からアザミの伐採、芝の移植など景観整備を進めています。

質 県指定天然記念物（万座毛石灰岩植物群落）の保存について伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

オキナワスミレ、オキナワマツバボタン、ハナコミカンボクなど、貴重な植物が自生していて、重要な植物群落であります。文化財として万座毛の価値を広く伝え、次世代へ継承していけるよう取り組んでいきます。

質 昭和47年の原風景、いつ頃までに完了するのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

令和14年度を目標としています。

提 昭和47年と言いますと、今、モクマオウが群生している場所は松並木でした。ぜひ松並木まで整備計画に組み込んでいただきたいと思えます。

万座毛の観覧料について伺う

質 村民・県民・観光客から、一律100円の観覧料を徴収していますが、頂く目的を伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

施設に展示している資料の観覧料として徴収しています。使途としては、万座毛の維持管理、景観修復等に充てています。

質 なぜ村民の観覧料を無料にできないのか。

答 商工観光課長（城野 正和）

これまでも券売機前における混雑が発生している中で、窓口で村民の証明書等の確認が必要になると、スペースや人員配置、対応時間の増加など、満足度の低下が予想されると考えています。

質 例えば一日20名村民がいらっしゃる。これでも恐らく万座毛に来る村民は多いと思います。この20名が入り口のインフォメーションで、村民である証明書を提示すれば、何も

問題はないと思います。村民が500名も来るのなら話は別ですが。特に恩納校区で生まれ育った方には、子供の頃から地域の公園であるという思いが強いため、100円が惜しいのではありません。歴史的に見ても、万座毛という名称の由来は1726年、北山巡行で尚敬王が訪れた際に命名したこと、そのことも我々の誇りであり、何気なく散歩などで行く場所が万座毛であります。村民の宝物である万座毛。村民は無料であるべきだと考えます。

答 村長（長浜 善巳）

指定管理者である㈱万座毛の皆様と、どういった方法がいいか意見交換をしたいと思っています。

観光公害（オーバーツーリズム）について伺う

質 恩納村で発生している観光公害、直接的、間接的でも構いませんので考えを伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

観光公害とは、観光客が集中しすぎて、住民の生活や自然環境に悪い影響が出る状態のことです。住民生活への影響として、「交通機関や道路の混雑が増える」「騒音やマナー違反で住民の生活に支障が出る」「経済・社会的な影響として、「地価や家賃が上昇し、もともと住ん

でいた住民が住みにくくなる」「飲食店や物販店が観光客向けに特化し、住民向けのお店が減少する」「環境・文化財への影響として、「ごみや自然環境の破壊、景観の悪化につながる」などがあります。それらが具体的な例であり、恩納村でも当てはまると考えています。

質 恩納村はリゾートホテルや民泊などが地域住民の住宅などと、目と鼻の先にあるような環境になっていると思っています。近隣市町村を見渡しても、そのような住環境、なかなか少ないと思います。その辺は村のこれからの立ち位置、重々考える必要があると思います。

答 企画課長（宇江城 悟）

地域の皆様の暮らしと観光振興のバランスを大切にしながら、恩納村らしい持続可能な村づくりを実現していくことが、重要だと考えています。

提 土地価格の上昇、家賃の高騰、季節

による大渋滞、騒音問題、救急車の絶対的な不足など、マイナズ要素を取り上げるときがあります。恩納村の救急車の出勤回数は全国平均の2倍。国内で一番多いのではないかと言われるぐらい救急車が逼迫しています。それは人命に関わる観光公害です。恩納村の持続的な観光振興を実現するためにも、様々な問題を解決していただきたい。



議会の動き

4月

1日	人事異動辞令交付式	副議長	17日	沖縄県消防指令センター落成式	議長
2日	令和8年「春の全国交通安全運動」	議長	22日	議会広報委員会	
3日	教職員等全体研修会	議長	23日	議会運営委員会	
7日	真米田岬海の安全祈願祭	議長・議員	27日	第3回臨時会	
8日	うんな中学校入学式	議長・議員	28日	こいのぼり掲揚式	議長
9日	仲泊小学校入学式	議長・議員		令和8年度沖縄振興拡大会議及び懇談会	議長
16日	北部地域の道路網の整備促進並びに 離島架橋の早期実現に向けた決起大会	議長	30日	北部市町村議会議長会監査 議会広報委員会	議長
15日	議会広報委員会				

5月

8日	北部市町村議会議長会 第1回定例総会および懇親会	議長	19日	恩納村建設業者会懇親会	議長
11日	キャンプハンセンに関する三町村連絡協議会総会	議長		議会広報委員会	
12日	議会広報委員会			伊武部希望ヶ丘自治会の人件費に関する 陳情審査特別委員会	
15日	パッションフルーツ「旬入り宣言」イベント	議長	21日	沖縄めんそーれフェスタ意見交換会(5/21～5/22)	議長
	令和8年度恩納村商工会総代会及び懇親会	議長	23日	川上村山菜まつり(5/23～5/24)	議長
18日	金武地区一般廃棄物最終処分場整備事業(地鎮祭)	議長	25日	全国町村議会議長・副議長研修会(5/25～5/27)	議長
			28日	議会運営委員会	

6月

3日	第4回6月定例会(開会)		10日	定例会閉会	
4日	本会議(一般質問5人)			総務財政文教委員会	
5日	本会議(一般質問5人)		18日	前兼久ハーリー	議長・議員
8日	本会議(一般質問4人)		22日	農業関係3団体要請行動	議長
9日	本会議		23日	令和8年沖縄全戦没者追悼式	議長
	総務財政文教委員会		24日	兵站支援活動の視察及び艦艇見学会	議長
	経済建設民生委員会		25日	村慰霊祭	議長
	伊武部希望ヶ丘自治会の人件費に関する陳情審査特別委員会			キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会	議長
	議会広報委員会			防衛省表敬(6/25～6/27)	

自治功労者表彰

これまでの議員活動の功績を称して、表彰がありました。

全国町村議会議長会より表彰(在職15年以上) 大城堅三
沖縄県町村議会議長会より表彰(在職11年以上) 山田政幸、大城保、佐渡山明



左より 山田政幸、大城保、大城堅三、佐渡山明の4議員

局長あいさつ

事務局長

宮平 寛

(塩屋区出身)



このたび、議会事務局長を拝命いたしました宮平と申します。議会事務局は、議会活動を支え、議会が円滑かつ公正に運営されるよう補佐する重要な役割を担っております。責任の重さを認識するとともに、議会の円滑かつ公正な運営を支え、議員の皆様が十分に職務を遂行できるよう、また住民の皆様から信頼される開かれた議会の実現に向け職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。